



山本啓人が語る

SHIMANO

# OCEA サクラマスジギング ジグ選びのいろは

サクラマスジグ ジグの系統	レーダーチャート	ジグの特徴 / 効果的なタイミング	重量	おすすめのエリア	山本啓人Tips	
					一言アドバイス	使い方
<b>Center Sardine</b> センターサーディン	<p>フォールスピード (数字が高いほどスピードが速い) 引き軽さ (引き抵抗が軽い) 横の向きやすさ (すぐにジグが横に向く) ジャーク後の滞空時間 (数字が高いほど滞空時間が長い) スライド幅 (数字が高いほうが良くスライドする)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これから使って! パイロットジグ</li> <li>水平姿勢からのランダムフォール</li> <li>水押しが強く、サクラマスへのアピールが期待できる</li> <li>潮の速さは中速まで効果を発揮 (高速潮ではやや引っ張られる為、フォール能力半減)</li> <li>豊富なカラーバリエーション</li> <li>アングラーやタックルを選ばない、安定したアクション</li> </ul>	135g	全てのエリア	25m以浅で使いやすい。 サクラマスが上ずっているとき。ポイントは積丹、恵山、網走、尻屋岬で出番多い。	思っているより強くしゃくってみてください。 その抵抗感がバイトチャンス!
			160g		ジャーク時には抵抗感を感じるが、そこがバイトのキモ! シマノのサクラマスジグの軸!	
			NEW 200g	特にベイトが大きい道東、潮が速い海峡エリア	ベイト(イワシ、ニシン)が大きいとき。 海峡の水深100mでバイトが出るとき。 ※糸が引っ張られてジグがフォールしないなど、特殊な状況下で効果を発揮。使い方によって爆発力がある。	
<b>Sardine Waver</b> サーディンウェーバー	<p>フォールスピード (数字が高いほどスピードが速い) 引き軽さ (引き抵抗が軽い) 横の向きやすさ (すぐにジグが横に向く) ジャーク後の滞空時間 (数字が高いほど滞空時間が長い) スライド幅 (数字が高いほうが良くスライドする)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ショートジグのスローな動き、スローフォール、フラッシングフォールを得意とするジグ</li> <li>大型サクラマスの実績が高い</li> <li>一方、速い潮は苦手。その場合はウェイトを上げるなどの工夫で対応可能</li> <li>近年スローな誘い、スローなフォールに反応することも増えてきている</li> <li>これまでのような上げ上げのアクションで喰わない場合に有効打となる</li> </ul> <p>スローが苦手とされているサクラマスがスローへの反応が上向きであることから、新しい攻め手として</p>	160g	全てのエリア	センターサーディンとはフォール速度とスライド幅で使い分ける! 従来100g・130gだったが、近年トレンドに合わせてウェイトアップ。これがサーディンウェーバーで軸になるウェイト。	スロージギングをイメージした、長めのフォールを意識してみて! 上げで誘ってフォールで喰わせるイメージです。
			180g		ショートシルエットの中間サイズ。良く捕食されている大羽イワシにはジャストマッチ。	
			200g	海峡エリア	本来スローフォールだが、ウェイトアップによりキレの良いミドルフォールを作り出せる。	
<b>SIXSIDE</b> シックスサイド	<p>フォールスピード (数字が高いほどスピードが速い) 引き軽さ (引き抵抗が軽い) 横の向きやすさ (すぐにジグが横に向く) ジャーク後の滞空時間 (数字が高いほど滞空時間が長い) スライド幅 (数字が高いほうが良くスライドする)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>極端に潮が速いとき、逆に極端に緩いとき</li> <li>極端に魚が喰わないとき</li> <li>ベイトの小さいとき</li> <li>特にバックスライドを好むとき (ストン、ではなく、泳ぎながらバックスライド)</li> <li>ハイアピールフォールが効くとき (6面体を活かして)</li> <li>ミディアムスピードの水平フォール</li> <li>ジャーク時のスライドを嫌うとき →ジャーク後はすぐに横を向き、サクラマスの視界から消さずに見せて喰わせる (横に消すのではなく縦に消すイメージ)</li> </ul>	130g	北海道全域	リアバランスをフワフワ使うのはこれ一択!	弱、中、強でしゃくってその日のパターンを探ってみて欲しい。 弱い: バックスライドが入る 中間: ランダム 強い: 水平フォール
			150g		サクラマスのど真ん中。 困ったらどこでも使ってみて。	
			180g	青森: 北海道 7:2	北海道では、ベイトが小さい恵山エリアで有効。	
			200g		パイロットではないが、海峡や潮が速いとき、二枚潮では必須。北海道では、ベイトが小さい恵山エリアで有効。	
<b>SIXRIDE</b> シックスライド	<p>フォールスピード (数字が高いほどスピードが速い) 引き軽さ (引き抵抗が軽い) 横の向きやすさ (すぐにジグが横に向く) ジャーク後の滞空時間 (数字が高いほど滞空時間が長い) スライド幅 (数字が高いほうが良くスライドする)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでシマノにはない、セミロングジグで誰にでも使いやすい</li> <li>ベイトが大きいとき (特にシーズン初期の魚がスレていないとき) のハイアピールアクションに反応するときに有効 例) 羅臼、苫小牧、恵山一部</li> <li>ミドル速度のフラッシング水平フォールからのバックスライド! が特徴</li> <li>細くて抜けが良いので、ジャークの強弱によってはフロントへのスライドも可能</li> <li>近年スローな誘い、スローなフォールに反応することも増えてきている</li> <li>ハイアピールのミドルフォールアクション</li> <li>リアベーで抜けが良いのである程度潮が速くても対応可能</li> <li>スピニングタックルや、ブリにもおすすめ!</li> </ul>	140g	北海道全域、尻屋岬	140gは軽い方のベース。140g・160gの使い分けでその日のパターンを探って欲しい。釣れなかったら、もう一方のウェイトにローテしてほしい! 他のジグで当たらぬときは試して!	スロージギングをイメージした、長めのフォールを意識してみて! 上げで誘ってフォールで喰わせるイメージです。 140g、160gはゆっくりしゃくってみて欲しい。 引きが重いと感じたときは、敢えて、強くしゃくってみて!
			160g	全エリア	際どいウェイト設定、160gは重い方のベース。 140g・160gの使い分けでその日のパターンを探って欲しい。釣れなかったら、どちらかにウェイトローテしてほしい! 他のジグで当たらないときは試して!	
			190g 220g	ビッグシルエットに反応が良いとき、ベイトサイズが大きいとき、極端に早いバックスライドに反応が良いときには投げないとブリ(ヒット)がない! (パターン)	ビッグシルエットに反応が良いとき、ベイトサイズが大きいとき、極端に早いバックスライドに反応が良いときに投げないとブリ(ヒット)がない! (パターン)	

銳意テスト中